

安全データシート

作成日 2023 年 9 月 1 日

1. 製品及び会社情報

製品名： 農薬リムーバー

会社名： 株式会社丸山製作所
住所： 東京都千代田区内神田 3-4-15 丸山サポートセンター
電話番号： 0120-898-114
FAX 番号： 03-3252-2281

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類：

物理的・化学的危険性

引火性液体	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（吸入）	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（復ばく露）	区分に該当しない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない
水性環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示

注意喚起語： なし

危険有害性情報： なし

注意書き： 汚染した衣類は、再使用する前に洗濯する。
使用に際し肌に異常が現れた場合、医師の治療を受ける。
眼の炎症が続く場合、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合、水で洗い流し決して吐かせないこと。
火災時には、粉末炭酸ガス又は、大量の噴霧水で消化すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
換気の良い涼しい場所で保管する。
内容物/容器は、地域/地方/国/国際的な法律に従って処理する。

3. 組成及び成分情報

化管法改正政令 2023 年 4 月 1 日対応

化学物質

成分名/化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	毒物劇物取締法	化審法	安全衛生法	PRTR法
オレンジオイル	非公開	8028-48-6	非該当	非該当	非該当	非該当
その他	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急処置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。刺激が続く場合は医師に連絡すること。
皮膚への接触	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。刺激が続く場合は、医師に連絡すること。
眼との接触	水で少なくとも15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。刺激が続く場合は、医師に連絡すること。
経口摂取	無理に吐かせないこと。肺に入ると化学的肺炎を起こすことがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	油火災として扱う。二酸化炭素または乾燥した化学的泡消火剤。
特殊危険物または混合物から生じる	60°C/140°Fを超える温度では、酸性作用でほとんどの金属から可燃性で爆発性の高い水素が放出される可能性がある。
消防士のための助言	燃焼している液体が広がる可能性がある為散水を使用しないこと。
保護装置	消防士は適切な保護具と自給式呼吸器 (SCBA) 及びフルフェイスマスクを 加圧モードで着用する。

6. 露出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置	必要ではない
環境に対する予備措置	必要な特別措置なし
封じ込め及び浄化の方法及び機材	吸着剤 (砂、珪藻土、酢バインダー、一般的なバインダー、おがくず) で吸着する。
他の項目の参照	安全な取り扱いについては、7 項目を参照 廃棄については、13 項目を参照

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意	必要な特別措置なし。 長時間の皮膚接触を避ける。使用後影響を受けた皮膚を洗う。
--------	--

安全な保管条件	容器を密閉して熱、火花、裸火、高温なもののような着火源から遠ざけて保管する。乾燥した換気の良い冷所（氷点以上）で保管。 追加情報なし。
---------	--

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	追加データなし。7項目を参照。
管理濃度・許容濃度	設定する必要なし。
個人用保護具	化学物質を処理するため、通常の予防措置に従うこと。
呼吸措置	噴霧の吸入を避ける。
手の保護具	長時間のばく露に備えて手袋を推奨する。
手袋の材質	化学物質に対応する手袋
眼の保護具	跳ね返りの可能性があるので保護眼鏡を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理状態	液体
色	暗い琥珀色
臭い	軽い酸性/石鹼のにおい
PH	<1
沸点	100°C
引火点	該当しない
可燃性	非可燃性
自然発火温度	自然発火はしない
爆発の危険性	なし
燃焼の限界	
下限	未定
上限	未定
蒸気圧	未定
1 ガロンの重量	9.25 ポンド/ 1 ガロン
比重	1.1
蒸発率	(BuAc=1) <1
水溶解性	水に混和する
その他のデータ	なし

10. 安定性及び反応性

反応性：	データなし
化学的安定性：	安定
危険有害反応可能性	反応性なし
避けるべき条件	熱や発火源から離す
混解危険物質	反応又は、非適合性のある物質は酸化性物質です。塩素酸塩や硝酸塩と接触すると極端に危険です。次亜塩素酸塩（例えば、塩素系漂白剤、硫化物又は、シアン化合物）との接触は有害ガスを放出する。アルカリ性物質（アクアアンモニア）と接触すると熱が発生する。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	
皮膚刺激性	軽度

眼刺激性	軽度
感作性	情報なし
追加の毒性学情報	仕様に従って使用されれば製品は、製品は過去の経験 又提供された情報では有害な影響はなし
発がん性のカテゴリー	
IARC（国際がん研究機関）	全成分が有害リストに記載されていない
NTP（米国国家毒性プログラム）	全成分が有害リストに記載されていない
OSHA-Ca（米国労働安全衛生局）	全成分が有害リストに記載されていない

12. 環境影響情報

毒性	
材料名	有機酸塩 結果：急性LC ₅₀ 71mg/L 種類：ニセネコゼミジンコ (Ceriodaphnia dubia)、 暴露：48時間
材料名	有機酸塩 結果：急性LC ₀ >142mg/L 種類：ニジマス 暴露96時間
水性環境毒性	追加情報なし
滞留性・分解性	追加情報なし
環境システム内の動き	
生態蓄積性	追加情報なし
土壤中の移動性	追加情報なし
追加生態上の情報	
生分解性	
PBT及びvPvB評価の結果	
PBT	該当しない
vPvB	該当しない
その他有害情報	追加情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物処理方法	
推奨事項	生分解性。この製品は、米国資源保全再利用法（RCRA）により評価されている。購入した形状で破棄する場合、有害廃棄物の範中には入っていない。
汚染容器包装	
推奨事項	廃棄する時は、関連法規に従って行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制AW19:BE48AW19:BEAW19:BE45	航空輸送、IATA及び海上輸送は、IMDGの規則に従う。
国連番号	該当しない
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない
国連正式品名	規制されていない
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない
輸送の危険性クラス	規制されていない
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない
梱包グループ	規制されていない
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない
環境の危険性	
海洋汚染物質	該当しない
ユーザーに対する特別な注意	該当しない
MARPOL73/78の附属書 II 及びIBC	
コードに従ってのバルク輸送	該当しない

国内規制	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件	「漏出時の処置・漏出時の設置」の項目を参照 「取り扱い及び保管上の注意」の項を参照 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷崩れ防止を確実に行う 該当法規に従い、包装・表示・輸送を行う
----------------	---

15. 適用法令

米国内適用法令	
物資または混合物に対する安全・衛生・環境規制・法律	
SARA（スーパーファンド修正および再授權法）	
セクション355（非常に危険な物質）	全成分が有害リストに記載されていない
セクション313（特定の有害な化学物質リスト）	全成分が有害リストに記載されていない
TSCA（有害物質規制法）	全成分が有害リストに記載されていない
プロポジション65	
がんを引き起こすと知られている化学物質	全成分が有害リストに記載されていない
女性の生殖毒性を引き起こすことで知られている化学物質	全成分が有害リストに記載されていない
男性の生殖毒性を引き起こすことで知られている化学物質	全成分が有害リストに記載されていない
発育毒性を引き起こすことで知られている化学物質	全成分が有害リストに記載されていない
発がん性の分類	
EPA（環境保護庁）	全成分が有害リストに記載されていない
TLV（環境衛生専門家会議によって設立された許容濃度）	全成分が有害リストに記載されていない
NIOSH-Ca（労働安全と健康国立研究所）	全成分が有害リストに記載されていない
GHSラベル要素	製品の分類とラベルは、GHSガイドラインに従ったものである
GHS危険ピクトグラム	有害成分がない
注意喚起語	なし
GHS危険有害性情報	非可燃性液体
注意書き	汚染された衣類を再使用前に洗うこと 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当を受けること 眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当を受けること 飲み込んだ場合無理に吐かせないこと 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること 換気の良い冷所で保管すること 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 換気の良い冷所で保管すること
国内適用法令	
化学物質排出把握管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
火薬類取締法	該当しない
高压ガス保安法	該当しない
消防法	該当しない
化審法	特定・監視・優先評価化学物質に該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

16. その他の情報

記載内容は当社の最善な調査に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有りえるため、取り扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定してくださるようお願いいたします。

また、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用ください。